

## 学校における働き方改革の一層の推進

令和8年2月19日(木)  
総合教育会議資料

### 1 経過

丹波市では、平成21年度から県教育委員会の「教職員の勤務時間適正化対策プラン」をもとに、学校の業務改善の取組を進め、校務支援システムの導入、定時退勤日の設定やノー部活デーを実施した。これらの取組で一定の成果は見られたものの、依然として課題が残る状況であったため、平成29年10月に「丹波市立学校教職員勤務時間実態調査」を実施し、丹波市の教職員の勤務状況の課題を整理したうえで、「丹波市立学校業務改善計画」をまとめた。

令和2年には、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」（以下、「給特法」という。）が一部改正され、教育職員の在校等時間から所定の勤務時間を除いた時間を原則月45時間・年360時間の範囲内とする方針が定められたため、教育職員の業務の量の適切な管理に努めるよう、令和2年4月28日に「市立学校の働き方改革に関する方針」を策定するとともに、「丹波市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則」の一部を改正し、在校等時間の上限時間等を定めた。

令和7年4月になり、全県共通目標が設定され、また、兵庫県教育長及び県内市町教育長から、教職員の働き方改革「共同メッセージ」が発出された。教職員の働き方改革の一層の推進が求められており、同年6月に改正された給特法では、服務監督を行う教育委員会において「業務量管理・健康確保措置実施計画」（以下、「実施計画」という。）の策定・公表が義務付けられた。

### 2 これまでの取組等

#### (1) 超過勤務時間

ア 在校等時間の上限範囲の設定：月45時間・年360時間

イ 月80時間超の教職員をゼロにすることを最優先で目指しつつ、全ての教職員が月45時間以内となるようにする（R7全県共通目標より）

#### (2) 取組一覧表

年度	主な取組
平成29年度	・部活動指導員の導入・設置 (部活動指導を行える地域人材等の協力)
平成30年度	・スクール・サポート・スタッフを配置(1校) ・学校閉庁日の導入(8月13日～15日の3日間)
令和2年度	・スクール・サポート・スタッフを小学校7校に設置 ・新型コロナウイルス感染症の対応のための消毒スタッフ全校配置(令和4年度末で終了) ・留守番電話の設置(平日夜間や休日の緊急対応は市役所、市教委で対応) ・産業医の設置

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校閉庁日の拡充（8月10日～16日の7日間）</li> <li>・保護者配布物の電子化（月2回に集約）</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクール・サポート・スタッフ全校配置</li> <li>・教員向け文書の掲示板掲載（文書の受付業務等の軽減）</li> </ul>
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布物取扱い変更予定</li> <li>・部活動地域展開の開始 （秋以降、休日における学校部活動の終了）</li> </ul>

### 3 現在の状況

#### (1) 超過勤務時間の推移【※別紙1】

- ① 超過勤務状況について
- ② 超過勤務時間の平均時間について

#### (2) 病気療養休暇取得状況 (R8.1月末現在)

区 分	R3	R4	R5	R6	R7
一般疾病	7	12	5	6	4
精神疾患	8	7	4	9	1
計	15	19	9	15	5

#### (3) 代替教員

年度	配置数	未配置数	配置率	未配置率
R6	6人	3人	66.6%	33.4%
R7	3人	5人	37.5%	62.5%

※未配置の理由

年度途中で復帰する育休取得者、男性の短期間育休取得者、急な病休者等、短期間の代替教員を要する常勤講師の不足

#### (4) 市教委主催研修会等一覧【※別紙2】

### 4 今後の予定

#### (1) 業務量管理・健康確保措置実施計画

令和8年3月までに、実施計画を策定  
 令和8年4月以降に、実施計画を公表・取組の実施  
 実施状況の公表と総合教育会議への報告（毎年度）

#### (2) 学校への配布物の取扱い

令和8年度から学校への配布物の取扱いを定める

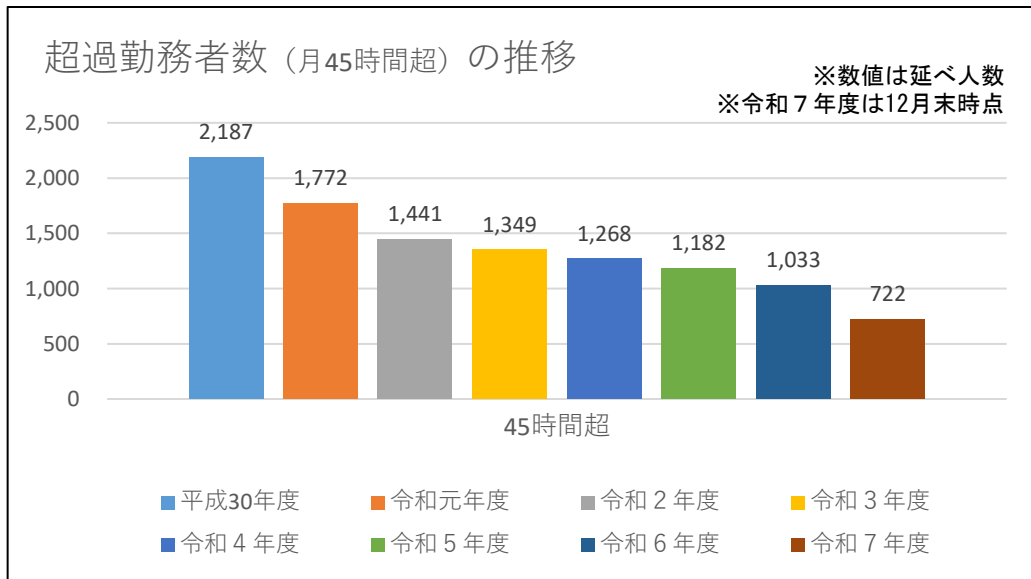
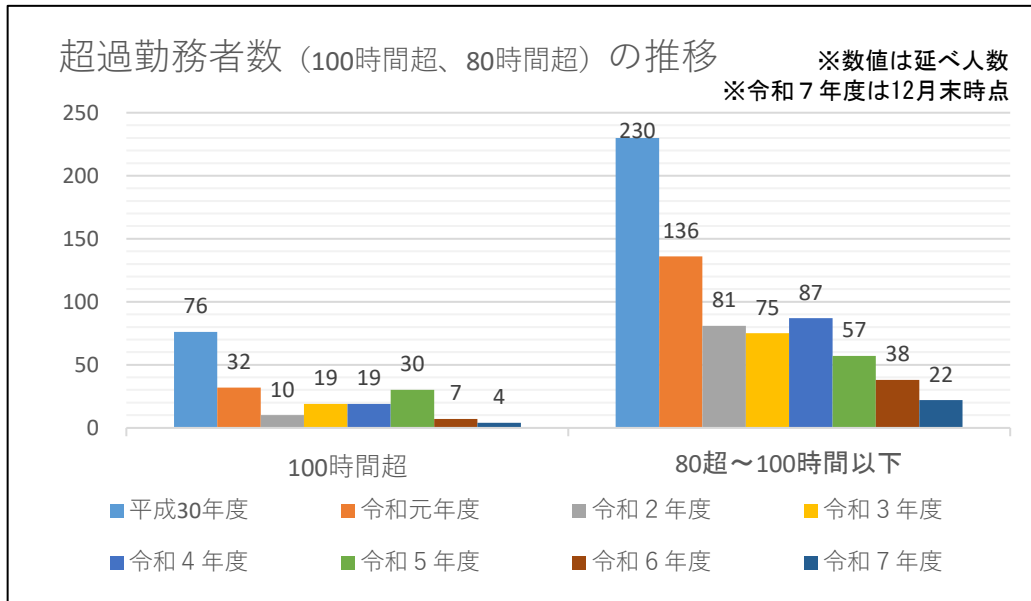
#### (3) 学校行事・校時表の見直し

- ア 学校行事の意義を踏まえ、内容を見直す
- イ 教育課程や校時表を見直し、下校時間を前倒し

# (1) 超過勤務時間の推移

【別紙 1】

## ① 超過勤務状況について



### 【状況】

丹波市は、平成30年度と比較し、年々、超過勤務者は徐々に減少している状況にあるが、令和2年度以降は、その減少幅は、鈍化傾向にある。

月100時間超の超過勤務者は、令和5年度には増えているが、主に山南中学校の統合による超過勤務者が増加した影響と、教頭の長時間労働の増加が大きな原因となっている。しかし、令和6年度以降は、前年を下回っている。

月80時間超から100時間以下の超過勤務者は年々減少している。

月45時間超の超過勤務者についても、平成30年度から3年間で一気に減少したが、令和2年度以降、鈍化傾向にある。令和7年度は12月末時点で722人であり、これは全体の14.8%となる。人数は4月から3月の毎月の超過勤務者の累積であり、月別では4月～6月および3月が多い。

## ② 超過勤務時間の平均時間について

### ○小・中学校全体（全教職員）

- ・令和4年度 30：22（平均）12月末まで
- ・令和5年度 29：07（平均）12月末まで △1時間15分
- ・令和6年度 27：50（平均）12月末まで △1時間17分
- ・令和7年度 26：31（平均）12月末まで △1時間19分

### ○小学校全体（全教職員）

- ・令和4年度 26：48（平均）12月末まで
- ・令和5年度 25：04（平均）12月末まで △1時間44分
- ・令和6年度 24：37（平均）12月末まで △27分
- ・令和7年度 23：09（平均）12月末まで △1時間28分

### ○中学校全体（全教職員）

- ・令和4年度 37：38（平均）12月末まで
- ・令和5年度 37：22（平均）12月末まで △16分
- ・令和6年度 34：06（平均）12月末まで △3時間16分
- ・令和7年度 33：07（平均）12月末まで △59分

### 【状況】

超過勤務時間の平均時間は、前年12月末時点の比較で、小学校が1時間28分、中学校が59分、小・中学校全体では1時間19分の減少となっている。

全体的に減少しており、全校のスクール・サポート・スタッフの継続配置、各校での働き方改革や業務改善によって、教職員の負担軽減に一定の成果が表れていると思われる。

なお、令和6年度以降のスクール・サポート・スタッフは、4月1日から勤務ができるようになっている。今後もスクール・サポート・スタッフの効率的な活用、教職員の働き方改革をさらに図っていきたいと考える。

## 令和7年度 丹波市教育委員会学校教育課 主催研修会等一覧 【別紙2】

令和7年3月3日時点

※研修会等の開催日につきましては、現在の予定日ですので、変更がある場合もあります。

◎:全て ○:一部

	研修会名	対象	回数	令和7年度開催予定日	オンライン オンデマンド
経験 年数 対応 研修	1 たんば啐啄塾	希望者(若年層)	2	5月・8月	○
	2 スクールリーダー育成研修会	希望者	1	10月～11月	
	3 新規採用教員研修会	新規採用教員	3	6月・8月・11月	
	4 人権教育研修会	採用3年未満	1	8月中旬	
	5 ニューリーダー育成研修会	希望者	1	10月下旬	
	6 管理職研修会	校長	1	8月	
		教頭・主幹教諭	1	1月	
職務 研修、 担当者 研修	8 情報セキュリティ研修	新規採用者等	1	4月初旬	◎
	9 特別支援教育セミナー	希望者・特別支援コーディネーター	3	4/25・8/28(午前)・2月	○
	10 授業改善推進会議	研究推進・学力向上担当者	2	5月、2月	
	11 不登校担当教員研修会	小・中不登校担当者	2	4月中旬・11月	○
	12 GIGAスクール構想推進リーダー研修会	GIGAスクール構想推進リーダー	3	6月・11月・3月	◎
	13 学級経営研修会	小・中学校担当者	1	7月	
	14 学校事務職員研修会	学校事務職員	1	10月～11月	
	15 特別支援教育アップデート研修	希望者	1	7月	
16 オンラインミニ研修	希望者		定期開催	◎	
連絡会・ 協議会等	17 トライやる・ウィーク担当者会	トライやる・ウィーク担当者	1	4月下旬	
	18 問題行動等中学校連絡協議会	中学校生徒指導担当者	2	6月・11月	
	19 中高連携協議会	中高連携担当者	3	5月・11月・3月	
	20 問題行動等小中学校連絡協議会	小中学校生徒指導担当者	1	6月～7月	
	21 コミスクフォーラム・連絡会	管理職・担当教職員等	1	1月	
	22 英語スピーチコンテスト	中学校英語担当者	1	11月末～12月初旬	
幼児 教育 研修	23 スタートアップ保育研修会	希望者	3	5月～12月	
	24 スキルアップ保育研修会	希望者	6	6月～12月	
	25 保育実践交流会	希望者	3	6月～11月	
	26 保育士等キャリアアップ研修会	希望者	1分野	8月	
該 当 校、 該 当 教 員	1 市研究指定校説明会	該当校	1	4月中旬	
	2 学力向上推進教員会議	学力向上推進教員	1～3	4月、第2回以降未定	
	3 多様な教育的ニーズに応じた教育研究部	教育研究員	6	不定期開催	
	4 学習データ活用教育研究部	教育研究員	6	不定期開催	